

福井都心地区における主要な景観形成方策

〈回遊の道〉

- ・(旧)北陸道や歴史のみちなどを活用しながら、舗装のグレードアップや道路空間の緑化を行い、潤いのある回遊の道づくりを行います。
- ・誘導サインの統一やモニュメントなどにより、通りとしての連続性を印象付けるとともに、一歩先へ行ってみたいくなる仕掛けづくりを行い、回遊性を高めます。
- ・夜間における回遊性を高めるため、街路灯やフットライトなどによる光の回廊を形成・演出します。



〈南北シンボル景観軸〉

- ・都市の南北景観軸にふさわしい、シンボリックな道路景観を形成します。
 - ・電線類の地中化
 - ・歩道のグレードアップ
 - ・街路樹による潤いの創出
 - ・街路灯やサインなどの意匠や色彩の統一
 - ・魅力ある夜間景観の演出
- ・福井鉄道駅の修景や架線柱の修景などにより、路面電車が走る福井固有の景観を演出します。
- ・沿道建築物の修景や共同化、スカイラインの統一、屋外広告物の規制などにより、道路空間と一体となった風格のあるまちなみを形成します。



〈桜の回廊〉



- ・さくら通り～城勝線～荒川～足羽川～木町通り～芦原街道を桜並木でつなぎ、回遊性のある桜の回廊を形成します。
- ・電線類の地中化や道路空間の演出、沿道建築物の修景などにより、通りとしての一体性の創出や、桜の回廊としての魅力を演出します。

〈養浩館庭園周辺〉

- ・養浩館庭園の歴史性と調和した、落ち着いたまちなみを形成します。
- ・用水の活用、道路空間の緑化・修景や舗装のグレードアップ、夜間のライティングなどにより、拠点性や回遊性を高めます。
- ・養浩館および庭園からの良好な眺望を保全するため、その周辺における建築物等の高さや色彩、意匠を規制・誘導します。
- ・通りからの庭園への視認性を高めるため、周辺のまちなみの高さの規制やまちかどの演出を行います。



〈福井城址(本丸跡)周辺〉

- ・石垣や樹木の保全、水質改善など、歴史資源としての環境を保全します。
- ・橋などの歴史的雰囲気への復元、視点場や散策路の整備とともに、中央公園の再整備により、公園都市としての「顔」を形成します。
- ・道路等の公共空間の演出、緑化スペースやオープンスペースの創出、建築物や屋外広告物の規制・誘導により、風格のある景観を形成します。



〈JR福井駅周辺〉

- ・訪れる人が最初に福井らしさをイメージする場所として、駅前広場や周辺のまちなみ整備による玄関口としての演出を行います。
- ・特に、過剰な屋外広告物など、都市イメージを



- ・ねる要因を排除します。
- ・まちなか回遊の起点として、歩いてみたいくなる仕掛けづくりを行います。

〈中央1丁目周辺〉

- ・建築物の修景や舗装のグレードアップ、花や緑による演出、店舗の個性化やイベントの開催などにより、賑わいと回遊性のある商業地景観を形成します。
- ・季節や通りなどによって変化する街路灯の整備、店舗のライティングなどにより、夜間における景観の演出や回遊性の向上を図ります。



〈大名町交差点〉

- ・東西・南北のシンボル景観軸が交差する大名町交差点は、特に重要な視点場として、緑化・修景や広場空間の整備、周辺における建築物や屋外広告物等の規制・誘導を行います。



〈東西シンボル景観軸〉

- ・JR福井駅から東西に延びるシンボルロードや木町通り及び東大通りは、都会的な沿道建築物の誘導、街路灯や誘導サインの統一などにより、メインストリートにふさわしい、潤いと風格ある景観を形成します。
- ・国見岳などへの山当てとなる通りとして、高さの統一や屋外広告物の規制などにより、視線軸を演出します。
- ・また、福井ICから都心地区へのアクセス路となる城の橋通りは、自動車利用者が福井を最初にイメージする通りとして、良好な沿道景観を形成します。



〈浜町界隈(中央3丁目)〉

- ・浜町特有の家並みを保全するとともに、これと調和する落ち着いたまちなみの誘導を図ります。
- ・電線類の地中化、歩行者空間のグレードアップなどとともに、足羽川に隣接する環境を活かして、緑豊かなおもてなしの景観を形成します。



〈足羽山周辺〉

- ・まちの「目印」である足羽山のシンボル性を高めるため、その周辺における建築物や屋外広告物の高さや形態意匠、色彩の規制・誘導を行い、足羽山への眺望を保全します。
- ・足羽山へのアクセス性を高めるため、まちなかからの歩行者動線のデザインの統一・演出を行うとともに、夜間の回遊性を高めるため、光の回廊でつなぎます。
- ・足羽山全体の回遊性を高めるため、歩行者空間をグレードアップするとともに、三段広場などにおいて、市街地や遠景の山並みを眺望する視点場を整備・演出します。



〈足羽川沿い〉

- ・多くの人々に親しまれている桜堤を後世に伝えます。
- ・河川敷を利用した広場や親水空間を整備・演出するとともに、ライティングにより夜間の回遊性を高めます。



- ・足羽川にかかる橋は、水辺景観におけるアクセントとして良好にデザインします。
- ・足羽川や足羽山を眺望する重要な視点場として、広場やたまり空間の整備・演出を行います。
- ・街路灯のデザイン、欄干や橋脚のライティングにより、魅力ある夜間景観を創出します。



幸橋の整備イメージ図